

講演題目

エネルギーインターネット実現に向けた技術の展望

講演者プロフィール

京都工芸繊維大学
大学院工芸科学研究科 電子システム工学専攻

門 勇一 氏



- ・1983年 東北大学大学院工学研究科 電子工学専攻 博士前期課程 修了。
(1998年 工学博士 東北大学)
- ・1983年、日本電信電話公社(現NTT)入社、LSI研究所 主任研究員、システムエレクトロニクス研究所 主幹研究員、マイクロシステムインテグレーション研究所 スマートデバイス研究部長を経て、2006年 同研究所 理事。
- ・2010年 京都工芸繊維大学 大学院工芸科学研究科 電子システム工学専攻 教授

講演概要

世界で人口100万人以上の都市の数は約450あり、2050年までに都市居住者は63億人になり、世界人口に占める都市居住者の割合は72%になると予測されている。都市に住む多数の住人の生活や企業活動を支えるにはエネルギーと情報の円滑な流通が不可欠である。一方、我々はエネルギーの自給自足、地球温暖化対策、及び防災に強い都市インフラの構築等の課題にも直面している。これらの社会的ニーズに応えるシステムとして電力網(強電)と情報通信網(弱電)が緊密に連携するエネルギー・インターネットの構想を紹介する。また、その実現に向けた技術課題と展望について述べる。